

5/13(水) 15時半～ 説明会実施

【共通教育 キャリア教育科目 (3単位)】 社会から学ぶ実践研修

—社会課題にふれるインターンシップ・プログラム—

本授業は、地域社会や社会課題に向き合う現場での実習を通して、教室で学んだ知識や調査手法を実社会で応用する力を養う科目です。選択できる現場は3つ。
シラバスや企業・団体情報なども参考に自身が経験したい現場も選択しましょう。

01

障がい者
×
就労支援

就労継続支援B型事業所
(江南市)



- ・ 障がいのある方の就労支援に伴走
- ・ 支援現場を体験し、課題を分析
- ・ 経営課題への仮説提案

▼こんな人におすすめ

- ・ 福祉や社会貢献に興味がある
- ・ 誰とでもフラットに接することができる
- ・ より良い改善策を考え、提案したい

実習先詳細



ワークショップ江南



トリロジー

02

こども
×
居場所・学びの場

こまきこども未来館
(小牧市)



- ・ 子供たちとの対話・観察
- ・ 企画の立案とプロトタイプ実施
- ・ 仮説→検証→改善の実践

▼こんな人におすすめ

- ・ 子どもの成長や教育に興味がある
- ・ 創造的な活動やイベント企画に関心がある
- ・ 0からベースで物事を考え、試行錯誤するのが好き

実習先詳細
はこちら→



03

文化政策
×
公共

長久手市文化の家
(長久手市)



- ・ 劇場・文化施設の運営体験
- ・ 市民企画会議への参加
- ・ 文化芸術事業の提案

▼こんな人におすすめ

- ・ 文化活動やアートに関心がある
- ・ 行政や公共事業に興味がある
- ・ 企画立案やリサーチをやってみたい

実習先詳細
はこちら→



社会の中で問いを持つ10日間

説明会の詳細や、カリキュラムスケジュールは裏面に▶

5/13(水)4限 ● 説明会（参加必須） 会場：B31
(15:30～16:15) ※参加できない場合は見逃し配信5/15(金) 15:00以降

5/20 ● エントリーシート提出締切
※ポルタのアンケートフォームより

5月末 ● 参加者・実習先の決定

8/3(月)3～4限 ● 事前学習（大学）

- 授業の目的・到達目標の理解
- 仕事とは何か（社会課題との関係）
- 実習研修における注意事項／基本行動について
- 実習先担当者との顔合わせおよび事前調査や実習準備

8/31～9/12 ● 実習（うち10日間）

- 各実習先での活動（日程は実習先によって異なる）
- ※原則、全日程参加

10/14(水)3～4限 ● 報告会（大学）

- 実習の振り返り、学びや気づきの報告
- 他の実習先のメンバーとの意見交換など

※履修登録不要（5月にエントリー後、参加決定者は6月に自動登録されます）

※原則、全日程参加

この授業で身につく力



社会課題の現場理解



調査、分析、提案力



対話力と協働力



公共性と市民性の理解

こんな人におすすめ

- 社会課題に関心がある
- 机上での学びだけでなく、リアルな現場で学びたい
- 人と対話することが好き
- 公務員、福祉、教育、文化分野などに関心がある
- 将来、社会に関わる仕事をしたい

評価方法について

- 報告会での発表、日報
- 修了報告書
- 実習先からの評価

「社会から学ぶ実践研修」説明会

日程：5月13日（水）15:30～16:15

会場：B31教室

内容：実習先の様子、実習のスケジュール、参加にあたっての注意事項などの説明

注意事項：マッチングは、原則として説明会に参加した学生を優先して行います。

やむを得ず出席できない場合は、必ず説明会の録画をご確認ください。

また、エントリーはポルタのアンケートフォームから実施してください。